

# 唐津市公共施設再配置計画

平成30年9月  
唐津市



# 目 次

<b>第1章 計画の概要</b> .....	1
1 計画の目的 .....	2
2 計画の位置付け .....	3
3 計画期間 .....	3
4 公共施設等総合管理計画上の削減目標 .....	3
5 計画の対象範囲 .....	4
6 再配置計画の基本方針 .....	6
7 施設長寿命化の考え方 .....	7
8 利用圏域毎の定義と考え方 .....	8
<b>第2章 個別施設の方向性</b> .....	10
<b>第1節 施設種別方針</b> .....	11
1 庁舎等 .....	11
2 衛生施設 .....	13
3 義務教育施設 .....	14
4 生涯学習施設 .....	17
5 福祉施設 .....	22
6 保健施設 .....	25
7 観光・産業振興施設 .....	26
8 その他 .....	29
<b>第2節 地域別方針</b> .....	30
1 唐津地域 .....	30
2 浜玉地域 .....	32
3 巖木地域 .....	34
4 相知地域 .....	36
5 北波多地域 .....	38

6	肥前地域	40
7	鎮西地域	42
8	呼子地域	44
9	七山地域	46
<b>第3章 計画の管理方針</b>		<b>48</b>
	参考資料	51

## **第 1 章 計画の概要**

---

## 1 計画の目的

本市の公共建築物は、昭和40年頃から昭和55年頃の15年間にかけて右肩上がり整備が進められ、その後一旦は減少傾向に転じましたが押し並べて堅調に推移し、現在までに多くの施設を整備し、市民サービスの向上、都市機能の充実に努めてきました。

しかしながら、今後、高齢化と人口減少が進み、財政状況が厳しくなるものと見込まれる中、これらの公共建築物の建て替え時期が一斉に訪れる時代が到来し、本市が現在保有する公共建築物の全てを、同じ機能・規模で維持していくことが難しくなると予想されます。

このような背景から、平成28年8月に策定した「公共施設等総合管理計画」に掲げる方針に基づき、安定した行政サービスを維持・提供できるよう、具体的に公共施設の再編に取り組んでいかなければなりません。

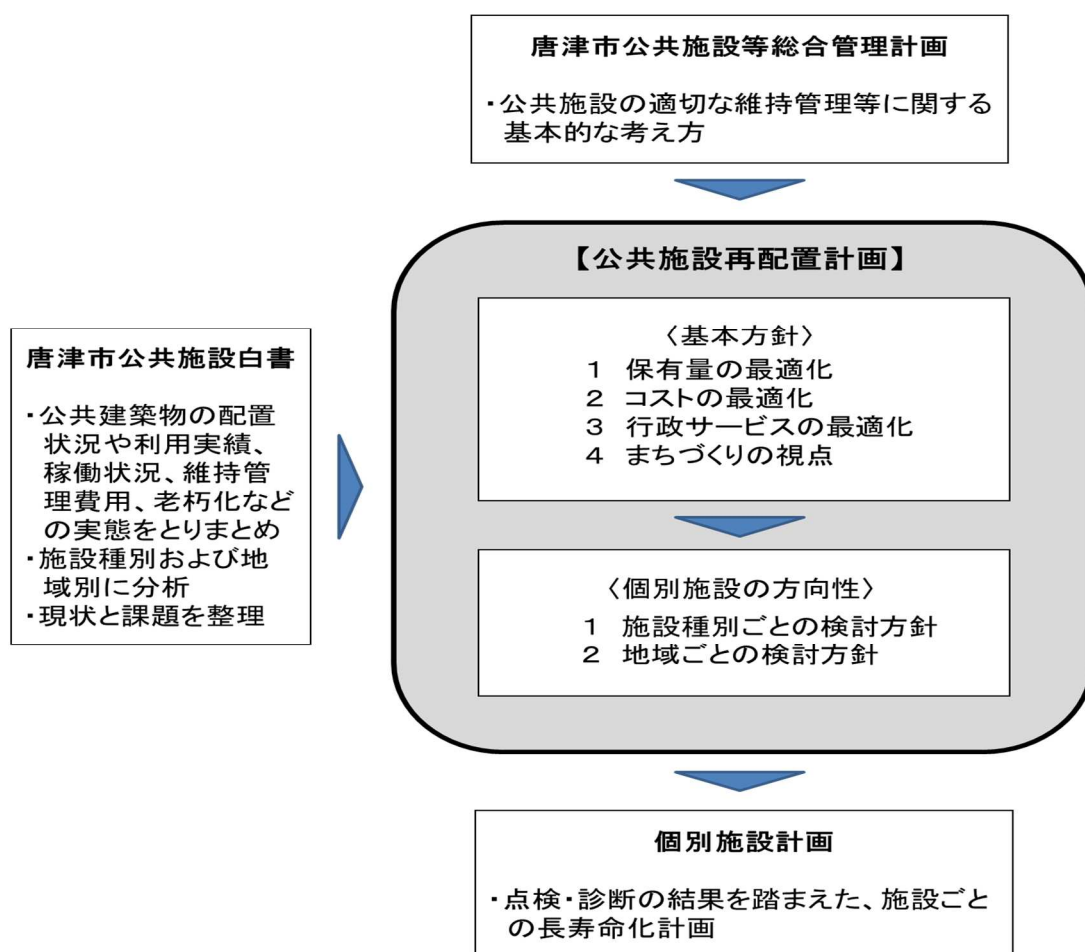
本計画は、本市が保有している公共建築物をただ削減していくためのものではなく、地域住民の利便性にも十分に配慮を行い、ファシリティマネジメントの視点から、将来を見通した最適な施設配置及び効率的・効果的な維持管理を実現していくことを目的としています。

### 「ファシリティマネジメント」の定義

企業・団体等が保有又は使用する全施設資産及びそれらの利用環境を経営戦略的視点から総合的かつ統括的に企画、管理、活用する経営活動。

## 2 計画の位置付け

【 図表 1－1 本計画の位置づけ 】



## 3 計画期間

2018年度～2047年度までの30年間を計画期間として設定します。

※公共建築物の削減状況や取り巻く環境の変化に応じて、概ね5年毎に計画内容を見直すこととします。

## 4 公共施設等総合管理計画上の削減目標

公共建築物の更新周期を60年、大規模改修周期を30年とし、今後60年間の費用を試算した結果、投資総額4,371.4億円、平均投資年額72.9億円となりました。この金額は、1市6町2村による2段階合併後の平成17年度から26年度までの10年間の公共建築物に対する平均投資年額49億円を大きく上回っており、差し引き約24億円（33%）の超過投資となります。

【 図表 1－2 公共建築物の更新・改修費用の推計値の超過率の算定 】

項 目	更新・改修費用の推計値			過去10年間の公共建築物 平均投資年額 C	推計平均投資年額と 実績平均投資年額の比較	
	積算対象 延床面積	60年間の 費用累計額 A	費用累計額 の平均年額 B = A/60		超過額 D = B - C	超過率 E = D/B
公共建築物	796,835	4,371.4	72.9	49.0	23.9	33%

また、公共建築物の構造別延べ床面積の状況を見ると、鉄筋コンクリート造等の非木造建築物が92%を占め、木造建築物の占める割合は8%と低い状況です。

木造建築物の34%を占める市営住宅の使用状況としては、公営住宅法に基づく耐用年数は30年ですが、ほとんどの木造住宅が40年を超えて使用されています。

本市では公共建築物の維持補修等を対処療法的に行っていることから、全ての建築物を建設後一律50年で更新すると仮定した場合、「公共施設等総合管理計画」期間内に更新対象となる延べ床面積は44.6万㎡となります。

これらのことから、「公共施設等総合管理計画」期間の平成28年度～平成46年度までの19年間においては、公共建築物の保有量を14.7万㎡（44.6万㎡の33%相当、全体保有面積の18.5%相当）以上削減することを目標としています。

【 図表 1－3 計画期間の公共建築物の削減目標の算定 】

項 目	更新・改修の対象床面積(㎡)			推計平均 投資年額 の超過率 D	削減目標面積等(㎡)		
	H26年度末 総床面積 A	H26年度末 処分予定 床面積 B	対象面積 (基準面積) C = A - B		今後19年間 の更新対象 推計面積 E	計画期間の目標	
						削減面積 F = D × E	削減率 G = F / C
公共建築物	797,921	1,086	796,835	33%	446,000	147,180	18.5%

## 5 計画の対象範囲

本計画は、本市が保有している公共建築物全般を対象としています。倉庫等の小規模な建築物は除外しています。また、具体的な再配置の実行プランについては、平成28年度に「公共施設白書」として整理を行った主要な公共建築物（平成29年度末現在、新た



に新設された施設は含み、除却・譲渡が決定している施設は除く)を対象として作成します。

【 図表 1-4 実行プラン対象施設分類一覧 】

施設大区分	施設小区分	対象施設数
庁舎等	本庁舎	1
	市民センター庁舎	8
	出張所	3
	消防庁舎	6
衛生施設	火葬場	5
	衛生処理場	2
	ごみ処理場	2
義務教育施設	中学校	18
	小学校	35
	幼稚園	2
	給食センター	6
生涯学習施設	公民館	25
	図書館	2
	社会教育研修施設	5
	人権センター等	5
	体育館・武道館	18
	プール	5
	グラウンド	3
	球技場	4
	市民会館・文化会館	4
	歴史資料館	3
福祉施設	福祉施設	7
	住生活支援施設	6
	保育所	7
	児童センター	3
	放課後児童クラブ	8
	老人憩の家	8
	高齢者センター	5
保健施設	保健センター	6
	病院・診療所	6
観光・産業振興施設	国民宿舎	1
	観光施設	33
	展示販売施設	7
	都市交流施設	5
	農林水産支援施設	3
合 計		267

【 図表 1-5 公共施設白書作成から変更のあった施設 】

分類	施設名称
新設	唐津市東部学校給食センター、浜崎第2放課後児童健全育成施設、旧大島邸

除却	浜玉給食センター、巖木学校給食センター、唐津市七山特産品等展示販売施設「鳴神の庄」
譲渡	国民宿舎いろは島、国民宿舎波戸岬、国民宿舎呼子ロッジ

## 6 再配置計画の基本方針

適正な行政サービスの水準を維持しながら、公共建築物の保有量及び行政コストの最適化を図るため、公共建築物及び施設サービス機能の再配置に関する基本方針を次のとおり掲げ、「第2章 個別施設の方向性」では、より具体的な方針を定めて推進します。

### (1) 保有量の最適化（効率的な機能配置によるライフサイクルコストの削減）

- ①新規の公共建築物は、原則として整備しません。
- ②既存施設を更新する場合は、原則として複合施設とし、利用状況及び将来人口を見据えたうえで規模を決定します。
- ③民営化できる施設は、民営化を推進し、施設の更新を行いません。

### (2) コストの最適化（効率的な運営による行政コストの削減）

- ①施設の維持管理は、長寿命化によるライフサイクルコストの削減と安全性を確保するため「事後保全型」から「予防保全型」への転換を図ります。
- ②利用休止した施設も含め、使用可能な施設は民間へ譲渡・貸付を行うなど、民間のノウハウを活用した維持管理費の削減及び地域活性化を推進します。

### (3) 行政サービスの最適化（施設サービスの集約化・重点化による財源確保）

- ①既存施設についても効率的な行政運営ができるよう、サービスの重点化及びサービス機能の集約による複合施設化を推進します。

### (4) まちづくりの視点（安心・安全で利便性や公平性に配慮した施設整備）

- ①施設を建設する際は、土砂災害等の危険要因を考慮し、安全性や将来性など、まちづくりの視点で推進します。
- ②市民センター（総合支所機能）は、利便性や公平性に配慮した地域コミュニティの拠点として、地域活性化や市民ニーズに対応したサービスを提供するため、多機能型の複合施設化を推進します。

## 7 施設長寿命化の考え方

施設の目標使用年数を次の通り設定し、故障や不具合などを未然に防ぐ「予防保全」を推進します。

### ①目標使用年数設定の考え方

日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS5 鉄筋コンクリート工事)において定めている、鉄筋コンクリート造の構造体の耐久性を参考として、公共施設の目標使用年数を設定します。

### ②目標使用年数の設定

本市の定める市有施設の目標使用年数については、おおむね以下のとおりとします。

構 造	目標使用年数	
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造	既存施設	新築施設
	築後 65年	築後 100年
木造	個別判断	

※ 既存施設については、建築基準法に基づく耐震基準を満たしていることを前提とします。  
※ 定める目標使用年数は目標値であり、実際の使用年数は劣化状況などによって増減する場合があります。  
※ 木造(木材)の目標値としては築後30年を目安としますが、構造としては、手入れを怠らなければ半永久的に使用可能でもあり、比較的簡易な施設から文化的施設まで広範囲に使用されているため、個別で判断します。  
※ その他の構造や、建築基準法に基づく耐震基準を満たしていない施設は、減価償却資産の耐用年数を目安とします。

目標使用年数に達していない施設であっても、既存ストックの活用の観点から改築が合理的な場合は建替を行うこととします。

## 8 利用圏域毎の定義と考え方

各施設の利用者層などから利用圏域毎に施設を区分し、その定義と考え方を示します。

### ①広域施設（市域全体または市域を越えて利用されている施設）

各用途別に市域に一つから二つ程度の機能配置を基本に、単体での設置及び地域施設などの機能を含めた複合・併設化を検討します。また、国・県及び隣接市町との共同設置なども検討します。

### ②市内3域施設（東部、中部、西部の圏域で利用されている施設）

各用途別に利用圏域の一つから二つ程度の機能配置を基本に、単体での設置及び地域施設などの機能を含めた複合・併設化を検討します。

※ 東部：浜玉地域、巖木地域、相知地域、七山地域

中部：唐津地域、北波多地域

西部：肥前地域、鎮西地域、呼子地域

ただし、目的によっては、この圏域を越えることができます。

### ③地域施設（地域区分又は中学校区分の圏域で利用されている施設）

各用途別に利用圏域の一つの機能配置を基本に、地域コミュニティの拠点形成に向けた複合・併設化を検討します。

### ④生活圏域施設（小学校区分の圏域で利用されている施設）

各用途別に利用圏域の一つの機能配置を基本に、複合・併設化を検討します。

### ⑤自治会圏域施設（自治会の圏域で利用されている施設）

各用途別に利用圏域の一つの機能配置を基本に、複合・併設化を検討します。なお、自治会で設置している類似公民館と同様の施設については、更新費用の公平性から自治会への無償譲渡を視野に入れ、原則として市の施設としての更新は行いません。

【 図表 1－6 地域区分等一覧 】

地域区分		中学校区分		小学校区分		所属地区名
番号	地域名	番号	校区名	番号	小学校区	
1	唐津	1	鬼塚中	1	久里小	双水、夕日、久里、中原
				2	鬼塚小	養母田鬼塚、養母田、山本、石志、千々賀、畑島、山田、橋本
		2	鏡中	3	鏡山小	鏡、松南町、原、柏崎、半田、宇木
				4	高島小	高島
		3	第五中	5	東唐津小	東唐津一丁目、東唐津二丁目、東唐津三丁目、東唐津四丁目、松南町
				6	外町小	東町、船宮町、元石町、水主町、大石町、十人町、魚屋町、材木町、千代田町、栄町、和多田海士町、和多田百人町、和多田東百人町、和多田先石、和多田南先石、和多田用尺
				7	成和小	和多田本村、和多田西山、和多田大土井、和多田天満町一丁目、和多田天満町二丁目、町田四丁目、町田五丁目、長谷
		4	第一中	8	大志小	坊主町、山下町、桜馬場、朝日町、江川町、元旗町、西旗町、富士見町、南富士見町、西浜町、菜畑、東城内、西城内、南城内、北城内、大名小路、木綿町、本町、中町、京町、高砂町、呉服町、米屋町、紺屋町、八百屋町、刀町、新町、平野町、弓鷹町、西寺町、新興町
				9	長松小	熊原町、菜畑、町田一丁目、町田二丁目、町田三丁目、神田、見借、旭が丘
		5	西唐津中	10	西唐津小	菜畑、二夕子、二夕子一丁目、二夕子二丁目、二夕子三丁目、西唐津一丁目、西唐津二丁目、西唐津三丁目、妙見町、藤崎通、海岸通、東大島町、西大島町
		7	佐志中	11	佐志小	橋本町、桜町、八幡町、佐志浜町、佐志中里、佐志中通、佐志南、中瀬通、唐房一丁目、唐房二丁目、唐房三丁目、唐房四丁目、唐房五丁目、唐房六丁目、唐房七丁目、浦、鳩川、枝去木
		8	湊中	12	湊小	湊町、相賀、屋形石、横野、中里、神集島
		6	高峰中	13	竹木場小	竹木場、菅牟田、熊ノ峰、重河内、唐ノ川、東山
14	大良小			大良、後川内、梨川内、東山		
6	肥前			15	切木小	万賀里川、仁田野尾、大浦、満越、中浦、杉野浦、湯野浦、切木、赤坂
2	浜玉	9	浜玉中	16	浜崎小	渚上、大江、浜崎、横田下、横田上、東山田、山瀬
				17	玉島小	谷口、岡口、五反田、南山、平原甲の内柳瀬の地域
				18	平原小	平原甲の内柳瀬を除いた地域、平原乙及び鳥巢
3	巖木	10	巖木中	19	巖木小	浦川内、広瀬、中島、牧瀬、巖木(浪瀬及び菴木行政区を除く。)、広川、星領、鳥越、平之、瀬戸木場、天川
				20	菴木小	菴木、浪瀬、岩屋、巖木(浪瀬及び菴木行政区)、本山、高倉、棕ノ木、楠の一部
4	相知	11	相知中	21	相知小	相知、中山、牟田部、山崎、久保、千束、平山上、平山下、佐里、横枕、湯屋、田頭、楠の一部、町切、長部田、鷹取
				22	伊岐佐小	伊岐佐、黒岩、大野
5	北波多	12	北波多中	23	北波多小	徳須恵、大杉、岸山、稗田、志気、行合野、田中、竹有、山彦、下平野、上平野、成洲
6	肥前	13	肥前中	24	入野小	入野、犬頭、星賀、梅崎、鶴牧(鶴牧及び大鶴行政区)、向島
				25	納所小	納所、鶴牧(菴津行政区)
				26	田野小	田野、寺浦、新木場、上ヶ倉、瓜ヶ坂
7	鎮西	14	馬渡中	27	馬渡小	馬渡島
				28	加唐小	加唐島 松島
		16	海青中	29	名護屋小	名護屋、串、波戸、野元
				30	打上小	打上、横竹、石室、加倉、高野、岩野、八床、菴蒲、早田、野元(鬼木地区の一部)、塩鶴、赤木、中野、丸田、うしお台
8	呼子			31	呼子小	呼子、殿ノ浦、小友、大友、加部島
9	七山	18	七山中	32	小川小	小川島
				33	七山小	白木、藤川、馬川、荒川、池原、木浦、仁部、滝川

## **第2章 個別施設の方向性**

---

## 第1節 施設種別方針

各施設の今後の方向性の前提条件として、施設が使える間は使うこととし、建替時期になった場合に適用することとします。

### 1 庁舎等

#### (1) 対象施設

本庁舎、市民センター庁舎、出張所、消防庁舎、消防団詰所

#### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 本庁舎については、広域施設として市域に一つの機能配置を基本とします。
- 市民センター庁舎については、唐津地域以外において、地域施設として地域区分毎に一つの機能配置を基本とし、地域住民が集まりやすい施設となるよう検討します。ただし長期的には、地域の実情なども踏まえたうえで、利用圏域を越えた統廃合もあり得ます。
- 出張所については、他の公共施設への機能集約を前提に施設の更新は行わないものとします。
- 消防庁舎については、市内3域施設として利用圏域毎に二つの機能配置を基本とします。
- 消防団詰所については、消防団の組織機構に応じ維持するものとし、部毎を基本として、団員数を加味した適正規模での配置とします。

【 図表2-1 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
1	唐津市本庁舎	12,340	建替え		
2	浜玉市民センター	2,063	建替え		
3	厳木市民センター	1,940	建替え		
4	相知市民センター	3,266	建替え		
5	北波多市民センター	1,630	耐震改修・長寿命化	建替え	
6	肥前市民センター	4,878		長寿命化	
7	鎮西市民センター	3,483	長寿命化		建替え

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
8	呼子市民センター	1,787	耐震改修・長寿命化		建替え
9	七山市民センター	2,994	長寿命化		
10	湊出張所	90			
11	切木出張所	44	他の施設へ機能集約		
12	打上出張所	26			他の施設へ機能集約
13	消防本部	3,236	長寿命化		建替え
14	消防署中部分署	750			長寿命化
15	消防東部分署	286	建替え		
16	消防南部分署	274	建替え		
17	消防西部分署	286	建替え		
18	消防北部分署	286	建替え		

#### ※ 実行プランにおける共通する考え方

- 基本方針の「長寿命化」については、基本的には目標使用年数まで使用するために必要な大規模改修工事を想定していますが、築後かなりの年数が経過している施設については、出来るかぎり目標使用年数まで使用するために必要なメンテナンスなどを行うことを想定しています。
- 更新しない方針の施設については、「長寿命化」を行わず、耐用年数を目処に今後の方針を検討することを想定しています。
- 構造が木造の施設については、手入れを怠らなければ半永久に使用可能との考え方から、「長寿命化」を行わなくても目標値の30年を目安に使用することを想定しています。
- 離島には、災害時の避難場所として、小中学校または公民館のいずれか1つの施設は最低限残すことを想定しています。



## 2 衛生施設

### (1) 対象施設

火葬場、衛生処理場、ごみ処理場

### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 火葬場については、当分の間は設備の更新を行うことで現状維持としますが、市内3域施設として利用圏域毎に一つの機能配置を基本とします。なお、将来的には、広域施設として市域に一つの機能配置を基本とし、隣接市町と共同設置を行う場合は、別枠分として取り扱います。
- 衛生処理場については、バイオマス事業が実施されれば用途廃止する予定のため、それまでの間は、現状維持とします。
- ごみ処理場については、中間処理施設及び最終処分場の機能を広域施設として、それぞれ市域に一つの機能配置を基本とします。

【 図表 2-2 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
19	大平山斎苑	2,377		長寿命化	
20	浜玉斎場さくら苑	977		長寿命化	
21	相知叡木斎場	695	長寿命化		
22	肥前斎場	794	長寿命化		
23	呼子町霊葬場	551	長寿命化		
24	唐津中部衛生処理センター	2,139	バイオマス事業が実施されなければ長寿命化		
25	唐津北部衛生処理センター	3,874			バイオマス事業が実施されなければ長寿命化
26	東山不燃物処理場	11	用途廃止		
27	唐津市清掃センター	7,151	中間処理施設は長寿命化、最終処分場は追加整備		

### 3 義務教育施設

#### (1) 対象施設

中学校、小学校、幼稚園、給食センター、教員宿舎等

#### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 中学校については、「唐津市立学校通学区域審議会」第1回答申(平成19年3月27日)及び第2回答申(平成19年11月29日)に基づき、学校配置の適正化が進んでおり、今後も当該審議会の答申に基づき、小中一貫校による統廃合なども選択肢に入れて適正配置を検討します。
- 小学校については、「唐津市立学校通学区域審議会」第1回答申(平成19年3月27日)に基づき、学校配置の適正化が進んでおり、今後も当該審議会の答申に基づき、小中一貫校による統廃合なども選択肢に入れて適正配置を検討します。
- 幼稚園については、民営化も含め、速やかに方針を決定します。
- 給食センターについては、浜玉、巖木、相知、北波多給食センターは、新設した東部給食センターに統合されており、今後は、肥前、鎮西、呼子給食センターを1箇所機能集約し、広域施設として市域に二つの機能配置を基本としますが、将来的には、民営化・民間活用を検討します。
- 教員宿舎等については、必要数を維持するものとし、閉校により不要となった施設は用途廃止を原則としますが、使えるものは地域の活性化を図るための活用を検討します。

【 図表 2-3 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
28	第一中学校	9,246			長寿命化
29	佐志中学校	7,967	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
30	高峰中学校	2,000		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
31	第五中学校	7,863	長寿命化		
32	鏡中学校	6,670	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
33	鬼塚中学校	6,226			通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
34	西唐津中学校	7,132	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
35	湊中学校	4,623	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
36	浜玉中学校	8,924			
37	巖木中学校	5,502	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
38	相知中学校	6,769			通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
39	北波多中学校	4,917	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
40	肥前中学校	6,209			通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
41	海青中学校	6,185			通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
42	馬渡中学校	2,161	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
43	加唐中学校	1,886	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
44	小川中学校	1,160	長寿命化		
45	七山中学校	3,558	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
46	大志小学校	5,961			長寿命化
47	東唐津小学校	3,297	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置		
48	外町小学校	7,153		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
49	成和小学校	5,984	長寿命化		
50	長松小学校	9,066		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
51	西唐津小学校	7,668		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
52	高島小学校	1,759		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
53	竹木場小学校	4,159		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
54	佐志小学校	10,157		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
55	鏡山小学校	6,893	建替え		
56	久里小学校	4,449			通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
57	鬼塚小学校	4,758	長寿命化	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
58	大良小学校	3,653	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
59	湊小学校	4,953	長寿命化		
60	浜崎小学校	6,194	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
61	玉島小学校	3,178	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
62	平原小学校	2,893	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
63	巖木小学校	3,921	長寿命化		
64	巻木小学校	3,651	長寿命化		
65	相知小学校	4,934	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
66	伊岐佐小学校	2,528	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
67	北波多小学校	4,532	長寿命化	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
68	入野小学校	4,049			長寿命化
69	入野小学校向島分校	916	長寿命化	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
70	田野小学校	4,492	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
71	納所小学校	3,671	長寿命化	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
72	切木小学校	3,183	長寿命化	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
73	名護屋小学校	4,735	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
74	打上小学校	3,799	長寿命化	通学区域審議会の答申 に基づく適正配置	
75	馬渡小学校	1,033			長寿命化
76	加唐小学校	905	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
77	加唐小学校松島分校	407	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
78	呼子小学校	5,084	長寿命化		通学区域審議会の答申 に基づく適正配置
79	小川小学校	3,146	長寿命化		
80	七山小学校	1,962			長寿命化
81	唐津幼稚園	1,015	民営化も含め方針決定		
82	巖木幼稚園	449	民営化		
83	相知学校給食センター	426	用途廃止		
84	唐津市東部学校給食センター	3,338			
85	北波多学校給食センター	351	用途廃止		
86	肥前学校給食センター	508	西部給食センター(仮) として統廃合を検討		
87	鎮西学校給食センター	741	西部給食センター(仮) として統廃合を検討		
88	呼子学校給食センター	549	西部給食センター(仮) として統廃合を検討		

## 4 生涯学習施設

### (1) 対象施設

公民館、集会施設、図書館、社会教育研修施設、人権センター等、体育館・武道館、プール、グラウンド、球技場、市民会館・文化会館、歴史資料館

### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 公民館については、唐津地域では、生活圏域施設として小学校区分毎に一つ、唐津地域以外では、地域施設として地域区分毎に一つの機能配置を基本とします。なお、校区等の再編により複数となっている場合は、建て替え時期に合わせて他の公共施設への機能集約を含め統廃合に向けた住民の合意形成を推進するものとし、また、地域の実情なども踏まえたうえで、利用圏域を越えた統廃合もあり得ます。
- 集会施設については、自治会の圏域で利用されている施設は、市の施設としては更新しないものとし、それ以上の圏域で利用されている施設は、公民館等への機能集約を検討します。
- 図書館については、広域施設として市域に一つの機能配置を基本とします。ただし、地域における図書サービス機能については、充実を図るものとし、
- 社会教育研修施設については、公民館等への機能集約を検討し、老朽化している施設から用途廃止を検討します。
- 人権センター等については、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とします。
- 体育館については、国体競技会場として使用可能とする施設は、市内3域施設として利用圏域に一つの機能配置を基本とします。その他については、現在の配置を基本としますが、将来的には学校体育館に機能集約を検討します。
- 武道館については、国体競技会場として使用可能とする施設は、広域施設として市域に一つの機能配置を基本とします。その他については、現在の配置を基本としますが、利用が少ない施設は、用途廃止を検討します。
- プールについては、学校プールに機能を集約し、将来的には広域施設として、市域に一つの機能配置を基本とし、閉校のプールを開放しているものは、用途廃止を検討します。

- グラウンドについては、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とします。なお、自治会圏域の広場等については、自治会レベルでの維持管理が困難となった場合は、用途廃止を検討します。
- 球技場については、国体競技会場として使用可能とする施設は、広域施設として市域に一つの機能配置を基本とします。その他については、現在の配置を基本としますが、利用が少ない施設は、用途廃止を検討します。
- 市民会館・文化会館については、将来的には、1,000人規模の施設を広域施設として、市域に一つの機能配置を基本とします。また、現有する複合施設のホール機能についても、300人規模の施設を市域に一つ、100人規模の施設を市域に一つの機能配置を基本とします。
- 歴史資料館については、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とします。

【 図表 2-4 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
89	志道公民館	989		大成公民館との 統廃合を検討	
90	大成公民館	866		志道公民館との 統廃合を検討	
91	佐志公民館	1,001			長寿命化
92	長松公民館	1,280	長寿命化		
93	竹木場公民館	893	建替え		
94	高島公民館	439	長寿命化		建替え
95	久里公民館	766	長寿命化		建替え
96	鬼塚公民館	766	長寿命化		建替え
97	湊公民館	887			長寿命化
98	神集島公民館	750	長寿命化		建替え
99	大良公民館	988	長寿命化		建替え
100	西唐津公民館	1,003	建替え		
101	東唐津公民館	790	長寿命化		
102	成和公民館	1,065		長寿命化	
103	浜玉公民館	2,967	浜玉市民センター へ機能集約		
104	巖木コミュニティセンター	2,036	巖木市民センター へ機能集約		

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
105	牟田部地区公民館	210	用途廃止		
106	平山地区公民館	1,716		用途廃止	
107	佐里地区公民館	1,594		用途廃止	
108	北波多公民館	1,082	耐震改修・長寿命化	北波多市民センター へ機能集約	
109	肥前公民館	1,569	長寿命化		
110	鎮西公民館	1,855	耐震改修・長寿命化		鎮西市民センター へ機能集約
111	打上公民館	780	鎮西公民館へ機能集約		
112	呼子公民館	1,920	建替え		
113	七山公民館	1,618	長寿命化		
114	唐津市近代図書館	4,384	長寿命化		
115	唐津市相知図書館	536	図書サービス機能 の移転を検討		
116	唐津市勤労青少年ホーム	1,143	用途廃止		
117	唐津市都市コミュニティセンター	2,438	長寿命化		公民館として建替え
118	唐津市都市青年の家	1,480	公民館等へ 機能集約を検討		
119	唐津市星賀わんぱくハウス	689		公民館等へ 機能集約を検討	
120	唐津市呼子子供の家	77	公民館等へ 機能集約を検討		
121	人権ふれあいセンター -唐津	2,362	耐震改修・長寿命化 または建替え		
122	唐津同和教育集会所	159	耐震改修・長寿命化 または建替え		
123	人権ふれあいセンター -相知	263	耐震改修・長寿命化 または建替え		
124	相知同和教育集会所	132	耐震改修・長寿命化 または建替え		
125	人権ふれあいセンター -北波多	422	耐震改修・長寿命化 または建替え		
126	唐津市文化体育館	8,799	長寿命化		建替え
127	唐津市文化体育館分館	770	唐津市文化体育館 (本館) へ機能集約		
128	松浦河畔公園洋弓場	107		利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討	
129	唐津市東部少年武道館	1,333			利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討
130	巖木本山体育館	1,385		学校体育館へ 機能集約を検討	
131	巖木柔剣道場	280	利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討		
132	相知天徳の丘運動公園 (体育館、弓道場)	2,191	長寿命化		
133	相知牟田部体育館	567			学校体育館へ 機能集約を検討

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
134	相知平山体育館	696		学校体育館へ 機能集約を検討	
135	相知佐里体育館	688		学校体育館へ 機能集約を検討	
136	相知浦の川スポーツ センター	442	学校体育館へ 機能集約を検討		
137	北波多社会体育館	2,051		学校体育館へ 機能集約を検討	
138	肥前体育館	1,813		学校体育館へ 機能集約を検討	
139	肥前武道場	1,168		利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討	
140	肥前総合運動場相撲 場	275	利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討		
141	鎮西スポーツセンタ ー(体育館、弓道場、 相撲場)	4,789		長寿命化	
142	スポーツランド石室	617	学校体育館へ 機能集約を検討		
143	呼子スポーツセンタ ー屋内競技場	2,254		学校体育館へ 機能集約を検討	
144	唐津市中瀬プール	273	耐震改修・長寿命化		用途廃止
145	唐津市屋内プール	1,624	耐震改修・長寿命化		建替え
146	唐津市厳木岩屋プ ール	790		用途廃止	
147	相知平山プール	16	用途廃止		
148	相知佐里プール	22	用途廃止		
149	唐津市陸上競技場	2,303	耐震改修・長寿命化 または建替え		
150	松浦河畔公園ラグビ ー・サッカー場	72	長寿命化	建替え	
151	肥前総合運動場多目 的運動場	225	長寿命化		
152	唐津市野球場	12,246	建替え		
153	松浦河畔公園(野球 場、庭球場)	371		利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討	
154	北波多ゲートボール センター	864		利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討	
155	肥前町屋内ゲートボ ール場	891	利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討		
156	唐津市民会館	7,936	建替え		
157	唐津市民交流プラザ	1,504			長寿命化
158	唐津市相知交流文化 センター	3,278		長寿命化	
159	唐津市肥前文化会館	2,355		用途廃止	
160	唐津市古代の森会館	1,664	長寿命化		
161	唐津市末盧館	721	長寿命化		



番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
162	唐津市埋門ノ館	323	老朽度合いに応じ 建替えを検討		

## 5 福祉施設

### (1) 対象施設

福祉施設、住生活支援施設、保育所、児童センター、放課後児童クラブ、老人憩の家、高齢者センター

### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 福祉施設については、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とし、利用状況を加味した適正規模での配置とします。
- 住生活支援施設については、民営化・民間活用を基本とし、利用状況や費用対効果によっては、用途廃止も検討します。
- 保育所については、民営化・民間活用を基本とします。
- 児童センターについては、現在の配置を基本とし、建て替え時期に合わせて他の公共施設への機能集約を含め統廃合を検討します。
- 放課後児童クラブについては、生活圏域施設として小学校区分毎に一つの機能配置を基本とし、空き教室への機能集約を検討します。
- 老人憩の家については、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とし、公民館等への機能集約を検討します。
- 高齢者センターについては、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とし、公民館等への機能集約を検討します。ただし、自治会の圏域で利用されている施設は、市の施設としては更新しないものとします。

【 図表 2-5 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
163	唐津市高齢者ふれあい会館	5,081		長寿命化	
164	障がい者支援センター	2,338			長寿命化
165	唐津市浜玉町世代間交流センター「やすらぎ荘」	743		老朽度合いに応じ建替えを検討	

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
166	唐津市ひれふりランド(ひれふりホール)	1,542	長寿命化		
167	唐津市おうち温泉天徳の湯	904		長寿命化	
168	唐津市肥前町福祉センター	1,000	利用状況を加味した適正規模での配置を検討		
169	唐津市七山鳴神の丘ふれあい館	707		老朽度合いに応じ建替えを検討	
170	唐津市双光園	1,169	民間活用を図りつつ、民営化も検討		
171	寿光園(養護老人ホーム)	2,148	民営化・民間活用を検討		
172	唐津市寿光園デイサービスセンター	421	民営化・民間活用を検討		
173	唐津市高齢者生活福祉センターひぜん荘	1,561	民間活用を図りつつ、民営化も検討		
174	唐津市高齢者生活福祉センターちんぜい荘	1,441	民間活用を図りつつ、民営化も検討		
175	延寿荘(養護老人ホーム)	3,052	民営化・民間活用を検討		
176	若葉保育所	948	民間活用を検討		
177	中島保育園	403	民営化		
178	岩屋保育園	591	民営化		
179	若竹保育所	292	民間活用を検討		
180	切木保育所	517	民営化		
181	高串保育所	698	民営化		
182	加唐島保育所	139	民営化・民間活用を検討		
183	唐津市外町児童センター(都市コミュニティーセンター内)	427	長寿命化		他の施設へ機能集約を検討
184	唐津市西唐津児童センター	315	他の施設へ機能集約を検討		
185	高串児童館	268	他の施設へ機能集約を検討		
186	長松放課後児童健全育成施設	229			小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討
187	西唐津放課後児童健全育成施設	163			小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討
188	鏡山第1放課後児童健全育成施設	205		小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討	
189	鏡山第2放課後児童健全育成施設	454	長寿命化		小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討
190	浜崎第1放課後児童健全育成施設	67		小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討	
191	浜崎第2放課後児童健全育成施設	418			
192	相知放課後児童健全育成施設	231			小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018～2027)	中期(2028～2037)	長期(2038～2047)
193	納所放課後児童クラブ	472	小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討		
194	唐津市厳木町老人憩の家	267	厳木市民センターへ機能集約		
195	唐津市相知町老人憩の家	470	公民館等へ機能集約を検討		
196	唐津市北波多老人憩の家	158		北波多市民センターへ機能集約	
197	唐津市肥前町老人憩の家	168	公民館等へ機能集約を検討		
198	唐津市馬渡島老人憩の家	144		公民館等へ機能集約を検討	
199	唐津市加唐島老人憩の家	98		公民館等へ機能集約を検討	
200	唐津市松島老人憩の家	114			公民館等へ機能集約を検討
201	唐津市小川島老人憩の家	298	公民館等へ機能集約を検討		
202	切木高齢者センター	189		公民館等へ機能集約または自治会へ譲渡	
203	星賀高齢者センター	409			
204	駄竹高齢者センター	149		公民館等へ機能集約または自治会へ譲渡	
205	向島高齢者センター	99		公民館等へ機能集約または自治会へ譲渡	
206	呼子町高齢者福祉センター	779			公民館等へ機能集約を検討

## 6 保健施設

### (1) 対象施設

保健センター、病院・診療所

### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 保健センターについては、将来的には広域施設として、市域に一つの機能配置を基本とします。なお、廃止される地域についても、これまでどおり健診や保健指導が実施できるよう、他の公共施設に適正に機能移転を行うものとします。
- 病院については、広域施設として市域に一つの機能配置を基本とします。
- 診療所については、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とします。なお、地域の一次医療を確保するために、普通財産を民間に貸し付けている場合は、市民センター等への機能集約を検討します。

【 図表 2-6 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
207	唐津地域総合保健医療センター	2,912	新保健センターへ機能集約		
208	唐津市ひれふりランド(保健センター)	2,907	機能集約するが、健診などは地域内の施設で実施		
209	厳木町保健センター	683	機能集約するが、健診などは地域内の施設で実施		
210	相知町保健センター	769	機能集約するが、健診などは地域内の施設で実施		
211	北波多総合保健センター	718	機能集約するが、健診などは地域内の施設で実施		
212	肥前町保健センター	564	機能集約するが、健診などは地域内の施設で実施		
213	高島診療所	186	長寿命化		
214	神集島診療所	270	長寿命化		建替え
215	唐津市民病院きたはた	5,385		長寿命化	
216	加唐島診療所	247	長寿命化		建替え
217	馬渡島診療所	260	長寿命化		建替え
218	小川島診療所	247	長寿命化		建替え

## 7 観光・産業振興施設

### (1) 対象施設

国民宿舎、観光施設、展示販売施設、都市交流施設、農林水産支援施設

### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、次のとおり設定します。

- 国民宿舎については、民営化を基本とし、民営化できない場合は、用途廃止を検討します。
- 観光施設については、文化財的な価値を有する施設は、現在の配置を基本とします。また、文化財的な価値を有しない施設は、民営化・民間活用を基本とし、利用状況や費用対効果によっては、用途廃止も検討します。ただし、地域振興に寄与している施設は、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とします。
- 展示販売施設については、民営化を基本とし、利用状況や費用対効果によっては、用途廃止も検討します。ただし、買い物弱者を対象とした施設は、設置目的等も踏まえて、現在の配置を基本とします。
- 都市交流施設については、民営化・民間活用を基本とし、利用状況や費用対効果によっては、用途廃止も検討します。
- 農林水産支援施設については、設置目的毎に市域に一つの機能配置を基本とします。ただし、自治会の圏域で利用されている施設は、市の施設としては更新しないものとします。

【 図表 2-7 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
219	国民宿舎虹ノ松原ホテル	4,069	民営化できなければ用途廃止		
220	唐津城	1,327	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復
221	舞鶴公園エレベータ	214	長寿命化		建替え
222	旧高取邸	1,459	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復
223	唐津市西ノ門館(出土文化財管理C)	763	長寿命化		

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
224	旧唐津銀行	907	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復
225	小笠原記念館	182	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復
226	唐津みなと交流センター	799			長寿命化
227	宝当御休処	134	利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討		
228	旧大島邸	470	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復
229	浜崎祇園山囃子保存会館	253	老朽度合いに応じ建替えを検討		
230	浜崎祇園子供山笠常設展示場	32		長寿命化	
231	巖木温泉佐用姫の湯	1,378	民間活用を図りつつ、民営化も検討		
232	相知あじさい館	182	民間活用を図りつつ、民営化も検討		
233	唐津市岸岳登山口休憩施設	150	利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討		
234	ぼたんと緑の丘	298	民営化・民間活用を検討		
235	ふれあい自然塾ひぜん	927	民営化・民間活用を検討		
236	唐津市鷹島肥前大橋展望広場	166	民営化・民間活用を検討		
237	向島観光休憩施設	22			利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討
238	玄海海中展望塔	535	民間活用を図りつつ、民営化も検討		
239	波戸岬海浜の家	136	利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討		
240	唐津市名護屋城茶苑「海月」	276	老朽度合いに応じ建替えを検討		
241	名護屋城跡観光案内所	10			
242	ゆうすげの里整備事業	37			
243	加唐島観光休憩施設	30		利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討	
244	松島観光休憩施設	23			利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討
245	呼子小友人工海浜公園(祇園の浜休憩所)	114			
246	呼子小友人工海浜公園(水光の浜休憩所)	208			利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討
247	呼子大綱引会館	413			長寿命化
248	鯨組主中尾家屋敷	1,068	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復	老朽度合いに応じ修復
249	呼子観光物産館	387			利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討
250	小川島離島待合所	51		利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討	
251	鳴神温泉なののゆ	1,613	民間活用を図りつつ、民営化も検討		

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	施設毎の基本方針		
			短期(2018~2027)	中期(2028~2037)	長期(2038~2047)
252	観音の滝休憩施設	220	利用状況等によっては、用途廃止も選択肢に入れ検討		
253	唐津市ふるさと会館 (アルピノ)	3,743	民営化を検討		
254	唐津市水産会館	1,270	民営化を検討		
255	唐津市蔽木特産品等 展示販売施設「風のふ るさと館」	452	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
256	唐津市蔽木岩屋ライ フセンター	598		長寿命化	
257	唐津市北波多特産品 等展示販売施設「岸岳 ふるさと館」	264	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
258	唐津市桃山天下市	1,973	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
259	唐津市呼子台場都市 漁村交流施設「特産品 等展示販売館」	327	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
260	唐津市蔽木緑風館	466	利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討		
261	唐津市ふれあいラン ド馬渡	254	利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討		
262	唐津市呼子交流促進 施設	795	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
263	唐津市呼子台場都市 漁村交流施設「交流 館」	914	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
264	唐津市ロフティ七山	584	民間活用を図りつつ、 民営化も検討		
265	唐津市水産業活性化 支援センター	1,135			長寿命化
266	種苗生産施設	1,864	水産業活性化支援センター との一体的な整備を検討		
267	唐津市肥前農産物加 工施設(ひげん生き活 きの里)	250		利用状況等によっては、用 途廃止も選択肢に入れ検討	



## 8 その他

### (1) 対象施設

市営住宅、ボートレース事業施設、普通財産

### (2) 今後の方向性

各施設の今後の方向性を、次のとおり設定します。

- 市営住宅については、唐津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、地域の実情にあわせ保有量の適正化を検討します。
- ボートレース事業施設については、企業会計に移行していることから、管理者の責任のもとで適正な資産管理を行うものとします。
- 普通財産の施設については、原則として更新しないものとします。また、閉校した学校施設(現に行政財産又は教育財産として供用しているものを含む。)も同様とします。

## 第2節 地域別方針

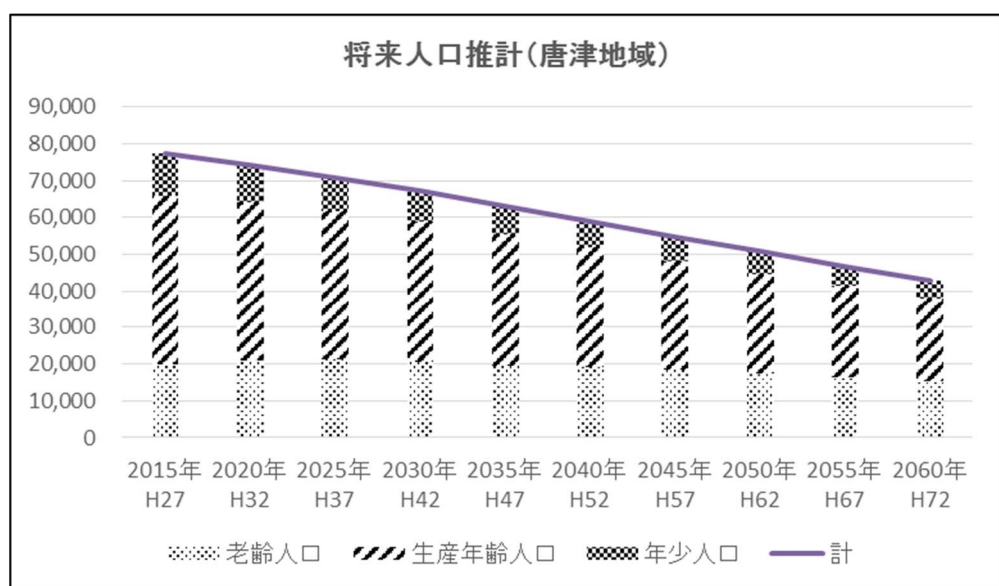
### 1 唐津地域

#### (1) 現状及び課題

唐津地域には、地域区分や小学校区分などの様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設として、唐津市本庁舎、唐津市近代図書館、唐津市民会館などといった施設も立地しています。

唐津地域の人口は平成27年度においては77,308人ですが、30年後の平成57年度には54,852人と29%の減少が予測されています。

唐津地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	19,925	18,502	▲ 7.1
生産年齢人口(15～64歳)	46,112	29,731	▲ 35.5
年少人口(0～14歳)	11,271	6,619	▲ 41.3
計	77,308	54,852	▲ 29.0



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

#### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

唐津地域は、地理的に見ると唐津市の中央部に位置し、行政、経済、交通、情報通信、教育、文化、医療福祉機能などさまざまな機能が集中しており、本市の都心部です。ま

た、観光客を迎える玄関口や市民の交流の場という役割も担っています。今後においても、唐津地域だけでなく周辺地域の住民もその都市機能の活用により利便性が享受できるよう検討が必要です。

このような中、唐津地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-8 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
1	唐津市本庁舎	12,340	1962	×	建替え
93	竹木場公民館	893	1974	×	建替え
100	西唐津公民館	1,003	1972	×	建替え
116	唐津市勤労青少年ホーム	1,143	1972	×	用途廃止
118	唐津市都市青年の家	1,480	1968	×	公民館等へ 機能集約を検討
121	人権ふれあいセンター唐津	2,362	1975	×	耐震改修・長寿命化 または建替え
122	唐津同和教育集会所	159	1973	×	耐震改修・長寿命化 または建替え
127	唐津市文化体育館分館	770	1969	×	唐津市文化体育館 (本館)へ機能集約
149	唐津市陸上競技場	2,303	1979	×	耐震改修・長寿命化 または建替え
156	唐津市民会館	7,936	1970	×	建替え
184	唐津市西唐津児童センター	315	1979	×	他の施設へ 機能集約を検討
225	小笠原記念館	182	1956	×	老朽度合いに応じ修復
266	種苗生産施設	1,864	1984	×	水産業活性化支援センター との一体的な整備を検討

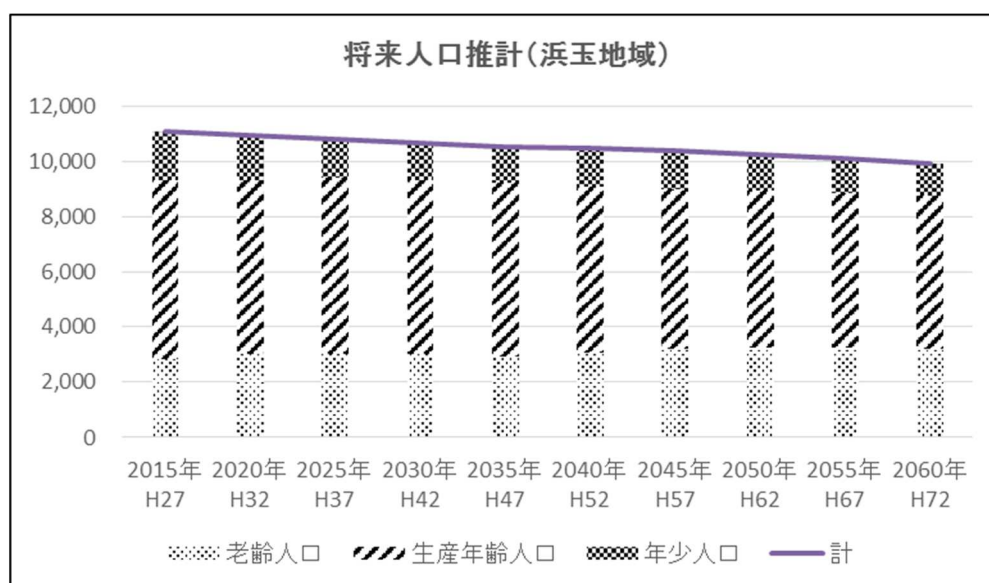
## 2 浜玉地域

### (1) 現状及び課題

浜玉地域には、地域区分の圏域内で利用される浜玉市民センター、浜玉公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

浜玉地域の人口は平成27年度においては11,088人ですが、30年後の平成57年度には10,388人と6.3%の減少が予測されています。

浜玉地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	2,855	3,208	12.4
生産年齢人口(15～64歳)	6,482	5,823	▲ 10.2
年少人口(0～14歳)	1,751	1,357	▲ 22.5
計	11,088	10,388	▲ 6.3



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

浜玉地域は、地理的に見ると唐津市の東部に位置し、福岡都市圏へのアクセス性に優れた立地条件などから、人口減少が予測される唐津市において、減少の割合が1番低い地域となっていますが、本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、現在より

も更に向上させるため、現在、公民館及び社会体育館との複合施設化が進められている市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、浜玉地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-9 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
2	浜玉市民センター	2,063	1959	×	建替え
15	消防東部分署	286	1972	×	建替え

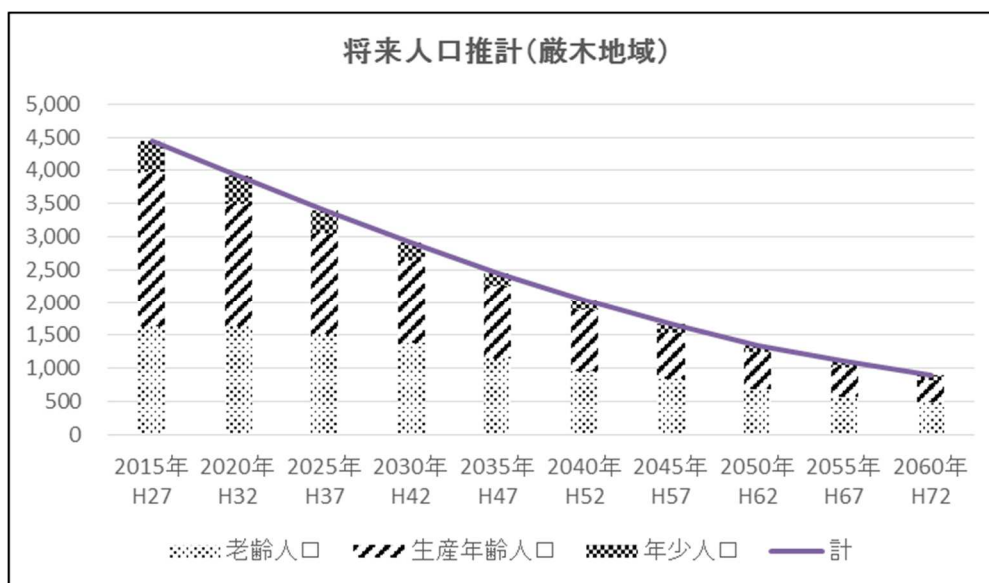
### 3 巖木地域

#### (1) 現状及び課題

巖木地域には、地域区分の圏域内で利用される巖木市民センター、巖木コミュニティーセンターといった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

巖木地域の人口は平成27年度においては4,446人ですが、30年後の平成57年度には1,665人と62.6%の減少が予測されています。

巖木地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	1,633	835	▲ 48.9
生産年齢人口(15～64歳)	2,346	698	▲ 70.2
年少人口(0～14歳)	467	132	▲ 71.7
計	4,446	1,665	▲ 62.6



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

#### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

巖木地域は、地理的に見ると唐津市の南部に位置し、長崎自動車道に近く、佐賀方面だけでなく長崎方面や福岡都市圏へのアクセス性に優れている立地条件を有していますが、人口減少が予測される唐津市において、減少の割合が最も高い地域となっており、

本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、巖木地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-10 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
3	巖木市民センター	1,940	1965	×	建替え
16	消防南部分署	274	1972	×	建替え
82	巖木幼稚園	449	1969	×	民営化
178	岩屋保育園	591	1980	×	民営化
194	唐津市巖木町老人憩の家	267	1978	×	巖木市民センター へ機能集約

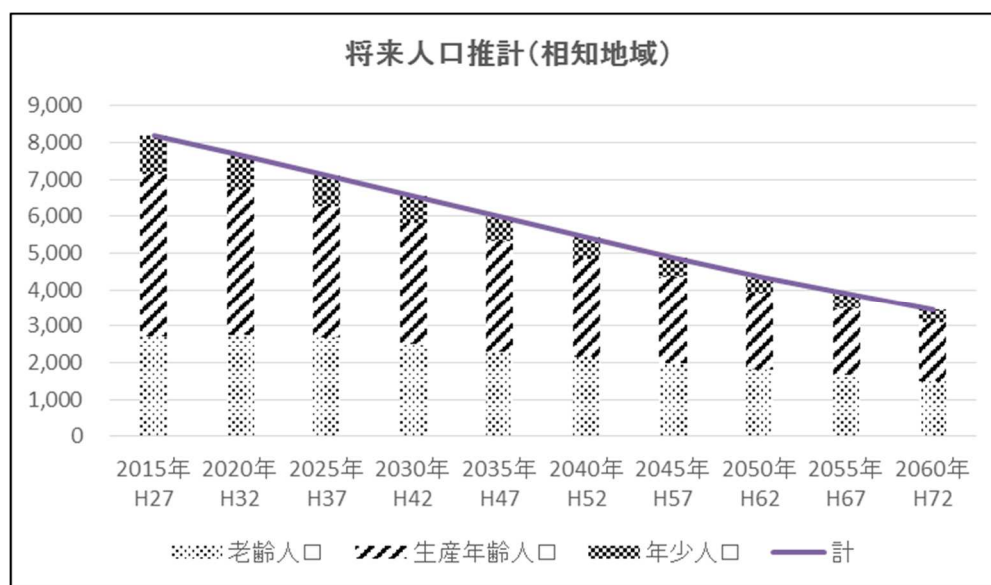
## 4 相知地域

### (1) 現状及び課題

相知地域には、地域区分の圏域内で利用される相知市民センターや、廃校を活用して設置された牟田部地区公民館、平山地区公民館、佐里地区公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

相知地域の人口は平成27年度においては8,169人ですが、30年後の平成57年度には4,869人と40.4%の減少が予測されています。

相知地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	2,729	1,964	▲ 28.0
生産年齢人口(15～64歳)	4,420	2,377	▲ 46.2
年少人口(0～14歳)	1,020	528	▲ 48.2
計	8,169	4,869	▲ 40.4



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

相知地域は、地理的に見ると唐津市の南部に位置し、佐賀市と連絡する国道203号、JR唐津線の沿線を中心に、本地域の生活拠点が形成されており、人口減少が予測され



る唐津市において、減少の割合は3番目に低い地域となっていますが、市全体での減少割合の34.2%よりは高く、本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、相知地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表2-11 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
4	相知市民センター	3,266	1962	×	建替え
83	相知学校給食センター	426	1977	×	用途廃止
105	牟田部地区公民館	210	1980	×	用途廃止
115	唐津市相知図書館	536	1980	×	図書サービス機能 の移転を検討
123	人権ふれあいセンター相知	263	1976	×	耐震改修・長寿命化 または建替え
124	相知同和教育集会所	132	1985	×	耐震改修・長寿命化 または建替え
147	相知平山プール	16	1965	×	用途廃止
148	相知佐里プール	22	1976	×	用途廃止
195	唐津市相知町老人憩の家	470	1976	×	公民館等へ 機能集約を検討

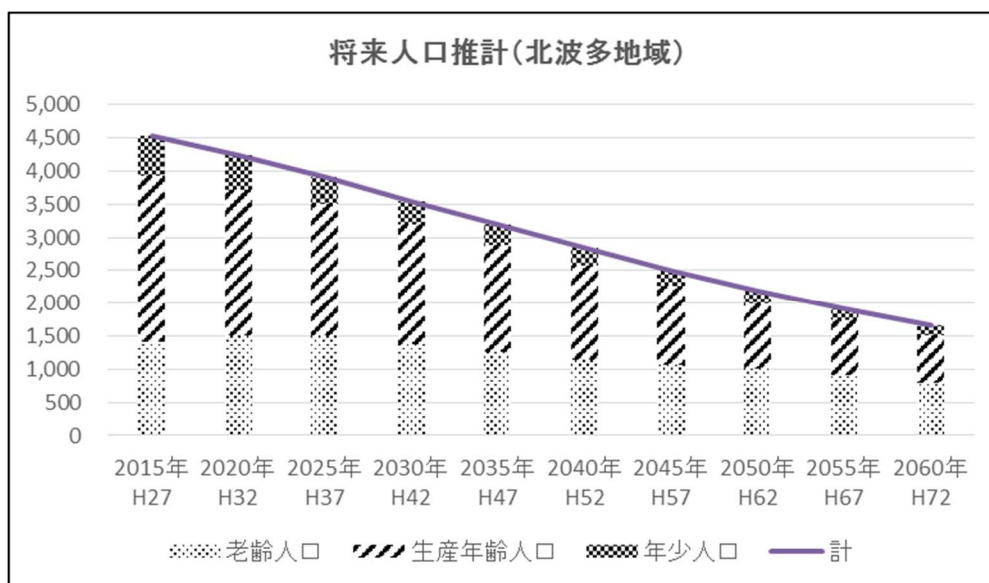
## 5 北波多地域

### (1) 現状及び課題

北波多地域には、地域区分の圏域内で利用される北波多市民センター、北波多公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設としても、唐津市清掃センター、唐津市民病院といった施設が立地しています。

北波多地域の人口は平成27年度においては4,535人ですが、30年後の平成57年度には2,503人と44.8%の減少が予測されています。

北波多地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	1,413	1,056	▲ 25.3
生産年齢人口(15～64歳)	2,512	1,201	▲ 52.2
年少人口(0～14歳)	610	246	▲ 59.7
計	4,535	2,503	▲ 44.8



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

北波多地域は、地理的に見ると唐津市の中央部に位置し、西九州自動車道のICが開通したことにより、福岡都市圏等へのアクセス性も良くなり、開発等も行われていますが、本地域においても、市全体での減少割合よりも高い割合での人口減少が予測されて

おり、本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、北波多地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-12 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
108	北波多公民館	1,082	1975	×	耐震改修・長寿命化
125	人権ふれあいセンター北波多	422	1978	×	耐震改修・長寿命化 または建替え
179	若竹保育所	292	1975	×	民間活用を検討

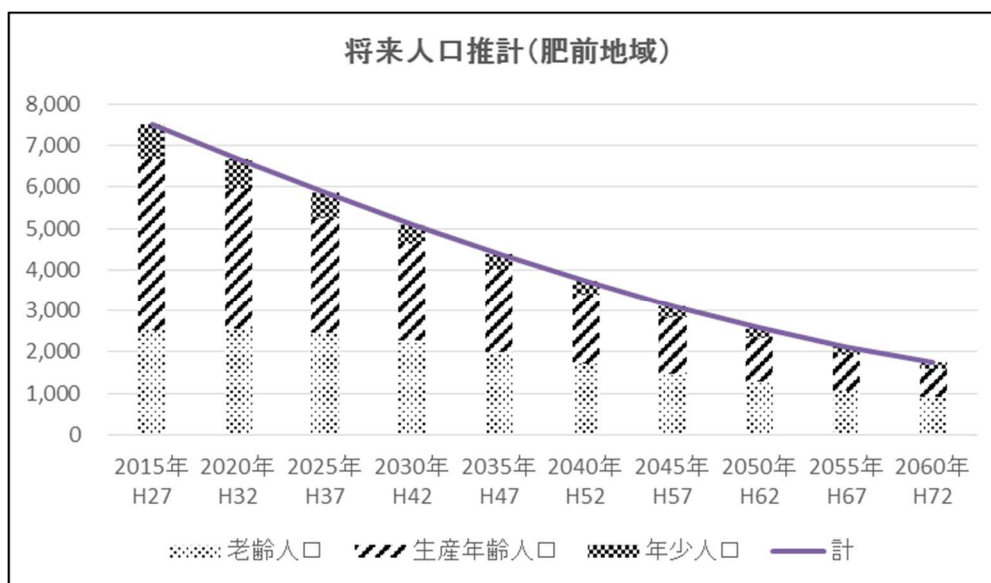
## 6 肥前地域

### (1) 現状及び課題

肥前地域には、地域区分の圏域内で利用される肥前市民センター、肥前公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

肥前地域の人口は平成27年度においては7,503人ですが、30年後の平成57年度には3,105人と58.6%の減少が予測されています。

肥前地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	2,511	1,473	▲ 41.3
生産年齢人口(15～64歳)	4,157	1,358	▲ 67.3
年少人口(0～14歳)	835	274	▲ 67.2
計	7,503	3,105	▲ 58.6



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

肥前地域は、地理的に見ると唐津市の西部に位置し、三方を玄海国定公園に指定されたリアス式海岸に囲まれた半島状の地域で、周辺の上場大地では農畜産物が、沿岸部の漁港では海産物が豊富であるなど、市内でも一次産業が盛んな地域となっていますが、

人口減少が予測される唐津市において、減少の割合は3番目に高く、従事者の減少・高齢化が懸念されており、本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、肥前地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-13 実行プラン 】

番号	施設の名称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
11	切木出張所	44	1981	×	他の施設へ機能集約
17	消防西部分署	286	1972	×	建替え
86	肥前学校給食センター	508	1977	×	西部給食センター(仮)として統廃合を検討
168	唐津市肥前町福祉センター	1,000	1970	×	利用状況を加味した適正規模での配置を検討
180	切木保育所	517	1974	×	民営化
185	高串児童館	268	1967	×	他の施設へ機能集約を検討
193	納所放課後児童クラブ	472	1972	×	小学校の教室に空きがあれば機能集約を検討

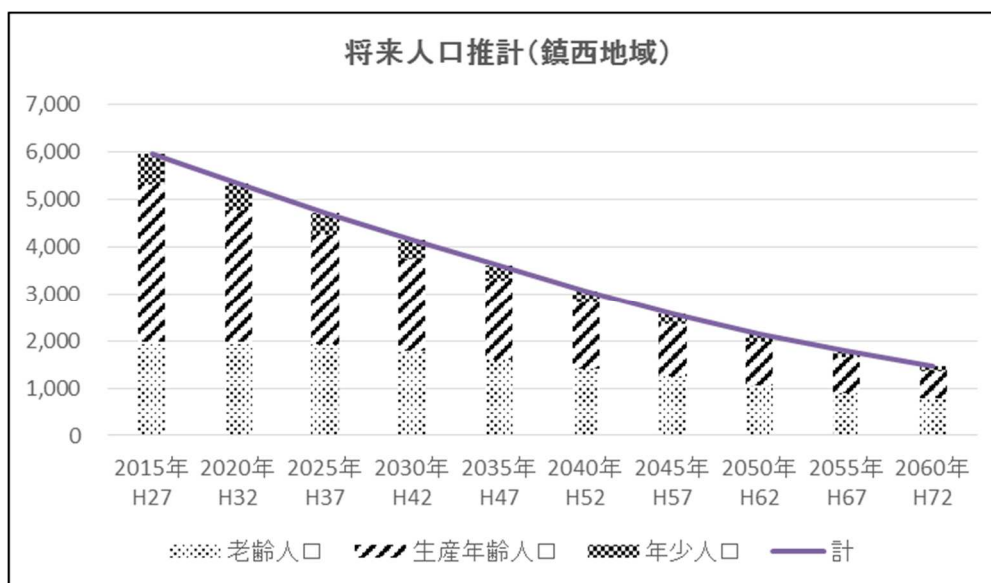
## 7 鎮西地域

### (1) 現状及び課題

鎮西地域には、地域区分の圏域内で利用される鎮西市民センターや、離島を除く小学校の単位で設置された鎮西公民館、打上公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

鎮西地域の人口は平成27年度においては5,967人ですが、30年後の平成57年度には2,579人と56.8%の減少が予測されています。

鎮西地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	1,965	1,234	▲ 37.2
生産年齢人口(15～64歳)	3,337	1,136	▲ 66.0
年少人口(0～14歳)	665	209	▲ 68.6
計	5,967	2,579	▲ 56.8



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

鎮西地域は、地理的に見ると唐津市の北部に位置し、周囲を玄海国定公園に囲まれた東松浦半島の北端の地域で、全国区の観光・交流資源である「名護屋城趾並びに陣跡」を有することから、本市の中でも代表的な観光地となっていますが、本地域においても、

市全体での減少割合よりも高い割合での人口減少が予測されており、本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、鎮西地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-14 実行プラン 】

番号	施設の名 称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
110	鎮西公民館	1,855	1980	×	耐震改修・長寿命化
111	打上公民館	780	1981	×	鎮西公民館へ機能集約
182	加唐島保育所	139	1981	×	民営化・民間活用を検討
238	玄海海中展望塔	535	1974	×	民間活用を図りつつ、 民営化も検討

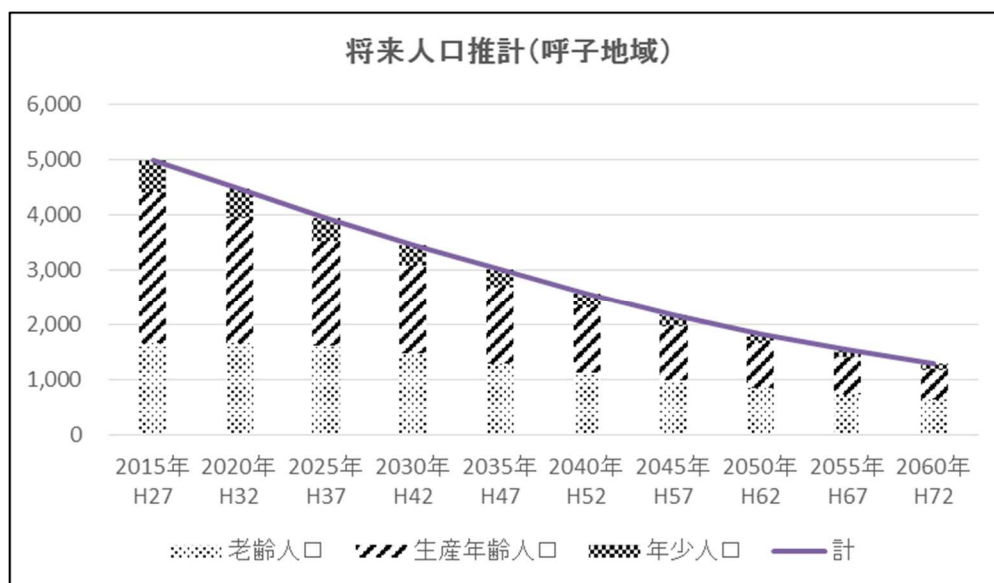
## 8 呼子地域

### (1) 現状及び課題

呼子地域には、地域区分の圏域内で利用される呼子市民センター、呼子公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

呼子地域の人口は平成27年度においては4,987人ですが、30年後の平成57年度には2,175人と56.4%の減少が予測されています。

呼子地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	1,650	975	▲ 40.9
生産年齢人口(15～64歳)	2,741	985	▲ 64.1
年少人口(0～14歳)	596	215	▲ 63.9
計	4,987	2,175	▲ 56.4



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

呼子地域は、地理的に見ると唐津市の北部に位置し、周囲を玄海国定公園に囲まれた東松浦半島の北端の地域で、全国区の観光・交流資源である「呼子朝市」を有することから、本市の中でも代表的な観光地となっていますが、本地域においても、市全体での減



少割合よりも高い割合での人口減少が予測されており、本地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

そうした中、呼子地域において、耐震性に問題があり、早期に建替えなどを検討する必要がある施設の再配置に向けた実行プランは、次のとおりです。

【 図表 2-15 実行プラン 】

番号	施設の名 称	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 区分	施設毎の基本方針
					短期(2018~2027)
18	消防北部分署	286	1972	×	建替え
112	呼子公民館	1,920	1966	×	建替え
120	唐津市呼子子供の家	77	1981	×	公民館等へ 機能集約を検討

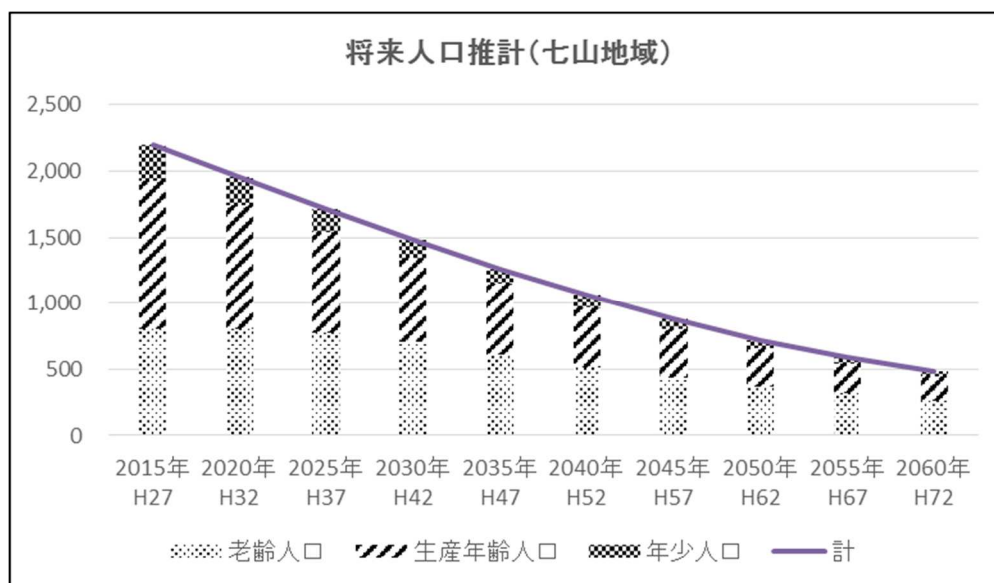
## 9 七山地域

### (1) 現状及び課題

七山地域には、地域区分の圏域内で利用される七山市民センター、七山公民館といった施設の他にも、様々な圏域で利用される施設がありますが、全市的に利用される施設は特に立地していません。

七山地域の人口は平成27年度においては2,199人ですが、30年後の平成57年度には876人と60.2%の減少が予測されています。

七山地域	H27 (人)	H57 (人)	H27 → H57 (%)
高齢人口(65歳以上)	807	434	▲ 46.2
生産年齢人口(15～64歳)	1,122	367	▲ 67.3
年少人口(0～14歳)	270	75	▲ 72.2
計	2,199	876	▲ 60.2



※「唐津市論点データ集」の推計人口を使用しています。

### (2) 地域特性を踏まえた今後の方向性

七山地域は、地理的に見ると唐津市の東部に位置し、地域の約7割を山林が占めた地域で、平成27年度の人口は全地域の中で最も少なく、人口減少が予測される唐津市において、減少の割合は2番目に高く、30年後には千人を下回ることが予測されており、本

地域の住民が、公共施設を利用する際の利便性を、今後も維持するため、現在、診療所との複合施設化が進められている市民センターを中心とした、地域コミュニティの拠点形成に向けた検討が必要です。

ただし、七山地域においては、耐震性に問題がある施設は特にないため、既存施設の長寿命化を図りながら、長期的な視点で公共施設の再編を検討する必要があります。

### **第3章 計画の管理方針**

---

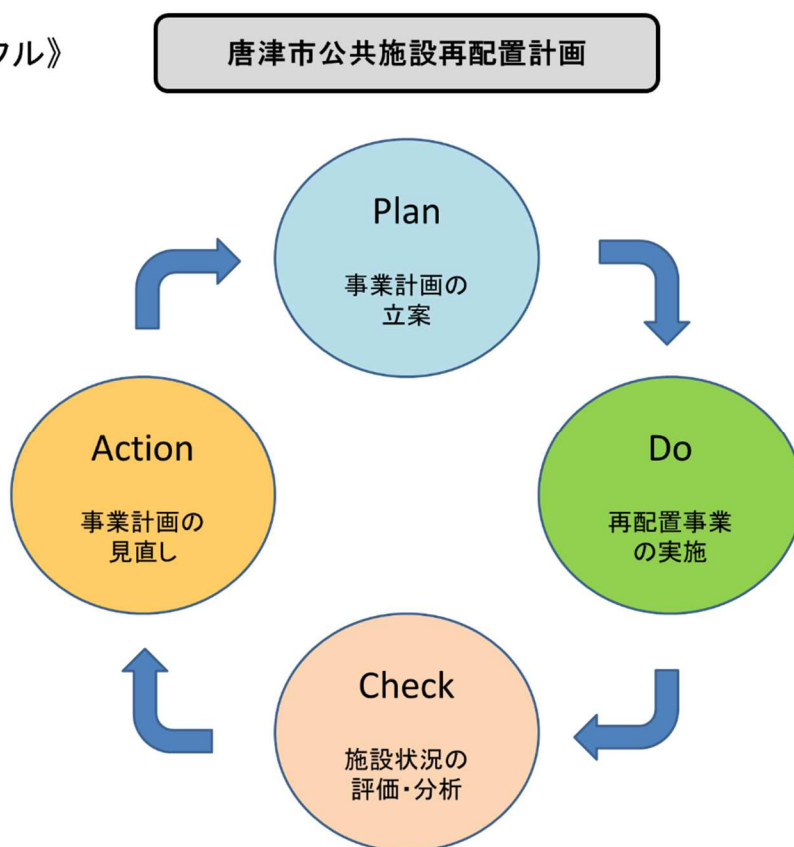
この章では再配置計画を着実に実践していくための必要な計画の管理方針などを示します。

### ①進行管理及び見直し

本計画の上位計画である「公共施設等総合管理計画」では、毎年、年度末時点の延べ床面積の状況を調査し、削減状況を管理することにしており、本計画については、公共建築物の削減状況や取り巻く環境の変化に応じて、概ね5年ごとに見直すこととします。

また、施設の再配置を着実に推進していくため、「Plan（計画）⇒Do（実施）⇒Check（点検・評価）⇒Act（改革・改善）」のPDCAサイクルを機能させる仕組みやルールづくりを関連部署と連携のもとに進めます。

《PDCAサイクル》

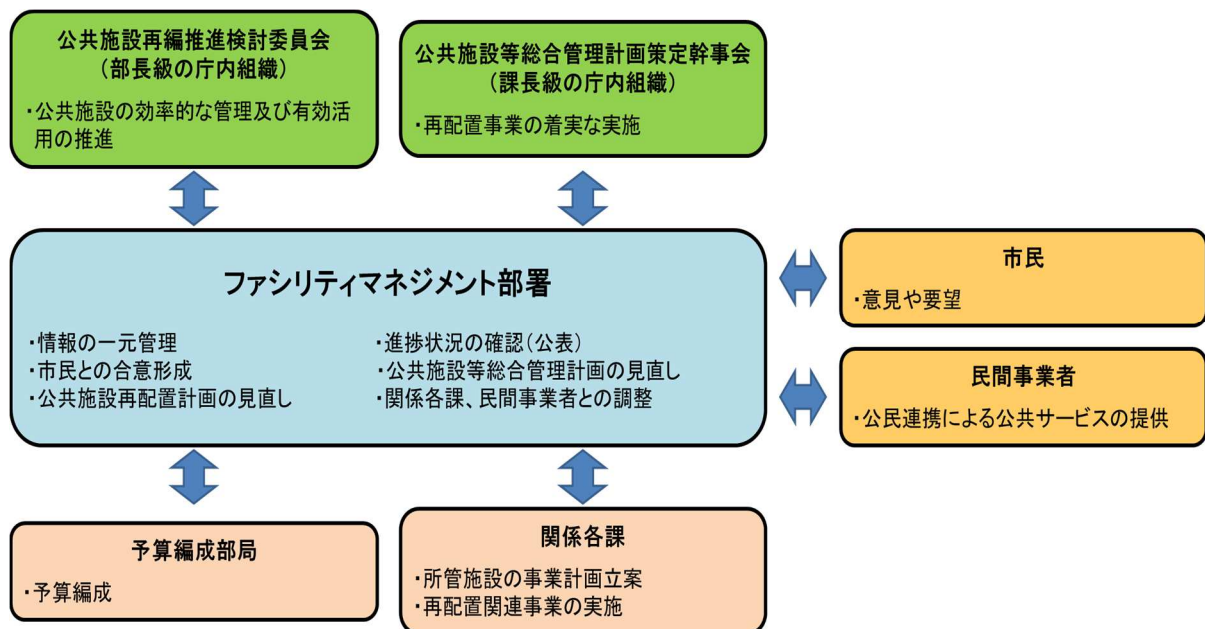


### ②計画の推進体制の確立

本計画を推進するにあたり、施設を所管する関係各課の協力の下、継続的に公共施設の実態を把握する必要があります。そのためには、組織を横断的に統括し、公共施設の

適正配置を強力に進めるファシリティマネジメント部署を位置づけ、「公共施設再編推進検討委員会」を随時開催し、公共施設の効率的な管理及び有効活用を推進します。また、その下部組織である「公共施設等総合管理計画策定幹事会」において、再配置事業の着実な実施に向けた横断的な協議を行うとともに、予算確保のため、予算編成部局との連携も強化します。

公共施設の統廃合や維持管理・運営、譲渡等には、市民をはじめ民間事業者との連携も不可欠であることから、積極的な情報提供に努め、情報の共有・合意形成を図り、行政サービスの最適化、維持管理・運営の効率化を進めます。



### ③「予防保全型」の維持管理

今後、「予防保全型」の維持管理を推進するため、建物や設備機器等の劣化の状況を定期的に点検・診断するためのマニュアルの作成などに取組みます。

## 日本建築学会建築工事標準仕様書（抜粋）

## 構造体の耐久性(鉄筋コンクリート)

建築工事標準仕様書(JASS5 日本建築学会発行)においては、鉄筋コンクリート造の構造体及び部材に要求される性能のうち、耐久性※1については、一般的な劣化作用を受ける構造体の計画供用期間※2の級※3として、4つの水準が定められています。

各級に応じたコンクリートの耐久設計基準強度については下表のとおりです。

計画供用級別計画供用期間及び耐久設計基準強度

計画供用期間の級	計画供用期間 (年) ※4	耐久設計基準強度※5 (N/mm <sup>2</sup> )
短期	30	18
標準	65	24
長期	100	30
超長期	200	36※6

※1 耐久性は、一般的な劣化作用及び特殊な劣化作用に対して、計画供用期間中は構造体に鉄筋腐食やコンクリートの重大な劣化が生じないものとする。なお、非構造部材においては、構造部材と同等の耐久性を有するか、または容易に維持保全ができる構造詳細になっているものとする。

※2 計画供用期間とは、建築物の計画時又は設計時に、建築主または設計者が設定する、建築物の予定供用期間のことである。

※3 軽量コンクリート、海水の作用を受けるコンクリート、凍結融解作用を受けるコンクリート、エコセメントを用いるコンクリート、再生骨材コンクリート及び無筋コンクリートの計画供用期間の級は、建築工事標準仕様書において、それぞれ別に定めがある。

※4 およその年数である。

※5 耐久設計基準強度とは、構造体及び部材の計画供用期間に応ずる耐久性を確保するために必要とするコンクリートの圧縮強度の基準値である。

※6 計画供用期間の級が超長期で、かぶり厚さを10mm増やした場合は、30N/mm<sup>2</sup>とすることができる。



Karatsu

## 唐津市公共施設再配置計画

唐津市 政策部 公共施設再編推進室

〒847-8511 唐津市西城内1-1

TEL 0955-72-9115

FAX 0955-72-9180

E-mail [koukyo-shisetsu@city.karatsu.lg.jp](mailto:koukyo-shisetsu@city.karatsu.lg.jp)